

一 読み

/12

二 画数

/4

三 送り

/5

四 構成

/6

五 部首

/6

六 対義

/6

七 同音

/7

八 誤字

/7

九 四字

/6

十 書取

/12

合計

/71

合格のめやす
50問(7割)

一 線の漢字の読みを、ひらがなで書きましょう。

① たん 生日のプレゼントを、母と相談する。

そうだん

② ノートに見本を丹念に書き写す。

たんねん

③ 海に潜ると小さな魚がいた。

もぐる

④ 春に桜の花が咲く。

さく

⑤ 夫婦で旅行する。

ふうふ

⑥ やくそくを忘れる。

わすれる

⑦ 旅行の日程をきめる。

にっぺい

⑧ あたたかい日なので薄着で出かけた。

うすぎ

⑨ 親に親孝行をする。

こうこう

⑩ 兄弟でこうえんへいく。

きょうだい

⑪ さかなの脂がよくのっている。

あぶら

⑫ 道で警官に道をたずねた。

けいかん

二 次の漢字は、何画で書きますか。数字で書きましょう。

① 義

13

画

② 揺

12

画

③ 茨

9

画

④ 席

10

画

三 線のことばを、漢字一字と送りがなで書きましょう。

れい
くるまがとまる。

止まる

① しぜんがゆたかな土地。

豊か

② おそろしい夢を見た。

恐ろしい

③ 話をうたがう。

疑う

④ ボールが足にあたる。

当たる

⑤ 手つだってくれてたすかるよ。

助かる

四 次の熟語の組み立ては、「」の「ア」のどれにあたりますか。記号で書きましょう。

ア 同じような意味の漢字を組み合わせたもの（れい 岩石）

イ 反対や対になる意味の漢字を組み合わせたもの（れい 左右）

ウ 上の漢字が下の漢字をくわしくしているもの（れい 青空）

エ 下の漢字が「くを」「くに」にあたるもの（れい 読書）

① 逮捕
ア

② 粘土
ウ

③ 湿潤
ア

④ 甲乙
イ

⑤ 陳列
ア

⑥ 孤島
ウ

五

部首がつく漢字を□に書きましょう。□の右は読みです。

れい

イ

(にんべん)

休

やすむ

心

(こころ)

①

怠

おこた
る

②

怠

いこ
い

竹

(たけかんむり)

③

国

籍

④

名

簿

才

(てへん)

⑤

交

換

六

反対の意味のことばを、「」から
えらんで漢字で書きましょう。

れい

大きい ⇄ 小さい

⑥

控

ひか
える

①

債務

⇄

債

権

②

愛護

⇄

虐

待

③

具体

⇄

抽

象

④

湿潤

⇄

乾

燥

⑤

解雇

⇄

雇

用

⑥

必然

⇄

偶

然

「かんそう ぎゃくたい ぐうぜん ちゅうしょう
さいけん こうよう」

七 次の——線のカタカナを、漢字で書きましょう。

① オウ米の国々を旅する。

欧

② ゲン想的なけしきを見る。

幻

③ カン心な点をおさえる。

肝

④ 自由をコウ束される。

拘

⑤ ケン約してお金をためる。

儉

⑥ オロかなことをしてしまった。

愚

⑦ オダやかな海を見る。

穏

八 次の文には、同じ読みのまちがった漢字が一字あります。誤字と正しい漢字を、右と左の□に書きましょう。

① 学校の前では車が除行する。

誤
除
正
徐

② 失敗する覚語で新しいことに取り組んだ。

誤
語
正
悟

③ 知らない文字を策除した。

誤
策
正
削

④ 馬の群れが広い草原を失走する。

誤
失
正
疾

⑤ 山楽地帯をバスで通りぬけた。

誤
楽
正
岳

⑥ 文化祭の起画をみんなで話し合った。

誤
起
正
企

⑦ 衛星が予定の規道に入った。

誤
規
正
軌

九

意味を読んで、□に入る漢字を書き、四字熟語を完成させましょう。

① 気 **炎** 万丈

ものすごくさかん、いきおい。

② 栄枯盛 **衰**

さかえたりおとろえたりする、世の中のうつりかわり。

③ 和 **魂** 洋才

日本人の心をもち、外国の学問や技術を取り入れること。

④ 深山 **幽** 谷

人があまり行かない、ひっそりとした深い山や谷。

⑤ **緩** 急自在

ゆるめたり急いだりを、思いのままにすること。

⑥ 心頭 **滅** 却

心の中のよけいな思いを、すっかり消すこと。

+

線のことばを、漢字で書きましょう。

① 父は会社ではたらくいている。

働

② うけつけで名前を言う。

受付

③ いちばんすきな花はひまわりです。

一番

④ むかしのきおくをたどる。

記憶

⑤ 日にやけてひふが赤い。

皮膚

⑥ 公園のじゅもくを見る。

樹木

⑦ かわでさかなをつる。

川

⑧ 絵の具をまぜる。

混

⑨ クラスでぎろんする。

議論

⑩ 駅でみちをあんないしてもらった。

案内

⑪ きょうしつのまどをあける。

教室

⑫ 外国の王に対して「へいか」と言う。

陛下

